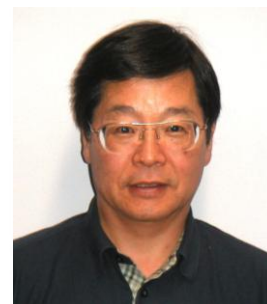


岩手大学名誉教授 青井 俊樹



ツキノワグマの生態と地域ぐるみの被害防除 ー 岩手県のある集落のチャレンジ ー

昨今のクマ類の里地への相次ぐ出没はかつてない規模で発生しており、地域の人々の安寧な生活が脅かされるほどである。しかしその割にはクマの生態に関する情報や、被害防除に関する対応や体制はまだ不十分で、時には誤った情報も流布している。そこで今回は話を二部に分け、前半はツキノワグマの生態を、後半は地域をあげて対策を実施してクマ被害を抑え込んだ、岩手県内のある集落の実例を紹介し、クマとの共存のあり方を考えてみたい。

第一部：その生態はいかに？ー ツキノワグマあるある、どこまでホント？ ー

第二部：クマ被害を防ぐには？ー 人との共生を目指して ー